科目名	地方自治論（分権と自治）　　Autonomy in Local Government						
科目担当者	甲斐 睦教　　KAI Mutsunori						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	私達の生活に直接係る我が国の地方自治の理念、その歴史や制度などを踏まえて、現在の地方自治のすがたを検証します。 講義では、近年地方分権改革が進められている中で、国と地方公共団体との関係、地方議会の役割、道州制の導入などの課題を考察し、また、地方自治に関するニュースや話題についても取上げながら、望ましい地方自治のありかたを探求します。						
授業の到達目標	①　地方自治の制度や組織など現状の仕組みを理解する。 ②　地方自治の歴史的変遷、特に地方分権の経緯を理解する。 ③　地方の自立に向けた自治体の役割や行政の在り方を自ら考察する。						

授業計画・内容		
	1	地方の環境変化と地方自治
	2	日本の地方自治のあゆみ
	3	地方自治の意義と法体系
	4	地方公共団体の種類や形態
	5	広域行政と市町村合併
	6	道州制導入の現状と課題
	7	地方公共団体の住民と住民自治
	8	地方公共団体の事務
	9	地方公共団体の立法
	10	地方公共団体の議会
	11	地方公共団体の執行機関
	12	地方公共団体の財務
	13	国と地方公共団体の関係
	14	地方公共団体相互の関係
	15	今後の地方自治の目指すべき方向

授業外学修 (事前学修)	毎回教科書の対象範囲を熟読し、ノートにまとめてみる。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回授業内容について要点を確認し、ノートを正しく整理する（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出	80% 20%	①、②、③ ①、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	大森彌／大杉覚　『これからの地方自治の教科書』改訂版　第一法規
参考文献	久世　公堯　『地方自治制度（第 7 次改訂版）』学陽書房
その他	